

平成30年度 事業計画書

自 平成30年4月 1日
至 平成31年3月31日

公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団

平成30年度事業計画書

1. 視聴覚障害者の日常生活の支援及び生活支援の援助者養成

(1) 手話放送の制作支援

「NNNニュースサンデー」に出演する手話通訳士の派遣事業。当該番組は、毎週日曜日午前6時15分～6時30分までの全国放送のニュース番組。手話通訳を画面右下にワイプで挿入している。平成30年度も東京都聴覚障害者連盟から推薦を受けた4名の手話通訳士が、交互に年間52回の手話放送に携わり、聴覚障害者の方々への情報サービスの一助となっている。

(2) 点字カレンダーの製作及び無料配布

写真付き点字カレンダーを製作し、関東を中心に全国の施設や個人に2万部を無料配布。この他、全国の系列局の協力を得て2万部余りを無料配布。写真の説明文を点字で表記しカレンダーに同封している。

点字カレンダーには、月ごとに美しい写真を付ける事によって晴眼者と視覚障害者とのコミュニケーションを促進する願いが込められている。来年のテーマは「日本の国定公園」。製作と配布は日本点字図書館と共同で実施。

(3) 手話スクールの開講と手話の普及事業

手話ができる人を一人でも多く増やし、聴覚障がい者への生活支援に貢献してもらおう。初級・中級の2年制で土曜日、四ツ谷の弘済会館で年間27回開講する。8月の「24時間テレビ」には手話コーラス部が出演する他、聴覚障害者の来場に対応するために手話通訳士を会場に派遣する。

手話スクールの来年度の1年生(42期生)は48名、2年生(41期)は39名。

(4) ラジオから発信する視覚障害者支援の情報番組

視覚障害者に対して晴眼者がどのように接すれば良いのか、また日々の生活で何を必要としているのか等の情報をラジオというメディアを使って発信する。視覚障害者と共により良い社会を目指すことを目的としている。放送はアール・エフ・ラジオ日本で、毎週日曜日、午前7時5分から15分間。放送を始めて満4年を迎え、今年も視覚障がい者のためになる事業と合体した特別番組の編成を計画している。60分サイズで放送予定、放送日は秋を予定。盲目のバイオリニスト「穴澤雄介」さんの演奏と、トークを予定。また鉄道ホーム事故を食い止める交通安全キャンペーンに参加する。これにより特番100万、キャンペーン50万の予算が増える

2. 視聴覚障害者を支援する団体への助成

(1) 角膜移植・再生医療への助成

平成22年度から開始した角膜移植・再生医療研究費への助成。

助成先：移植・再生医療を支える会

(2) 聴覚障害児の学校への助成

団体生活へのスムーズな順応を図ることを目的とした、耳の不自由な生徒約60人が参加する夏期郊外学習に対する助成。

助成先：日本聾話学校

(3) 視覚障害者福祉DVDの製作及び生活支援活動への助成

目の不自由な人を援助する人材の指導・育成のための教材DVDの製作に助成。また、同じ目的で行う地方講演会にも助成。

助成先：日本盲人職能開発センター

(4) 「盲人との接し方」ガイドブックの製作への助成

小冊子「盲人に接する人々のために」1万部の製作と配布に助成。

援助者が、盲人と一緒に歩く方法や危険物の扱い方などを学ぶ内容。

助成先：日本盲人職能開発センター

(5) 点字技能検定事業への助成

日本盲人社会福祉施設協議会が行う点字技能検定に助成。受験にかかる費用の一部等に使用される。この検定試験の目的は、点字関係職種の専門性と認知度を高め、点字の普及と点字の質の向上を図ることにある。合格者は厚生労働省より「点字技能師」として認められる。

助成先：日本盲人社会福祉施設協議会

(6) 視覚障害者ケア専門技術認定講習会への助成

全国の各種老人ホームの職員や在宅福祉に携わるヘルパー等を対象に、視覚障害者へのケア技術向上や、介護職員への指導者の養成を目的とした講習会への助成。講習会にかかる費用の一部に使用される。

助成先：全国盲老人福祉施設連絡協議会

(7) その他の助成

- ・聾者の団体が主催する野球大会に優勝・準優勝・最優秀投手賞楯を贈呈

助成先：全東京ろう社会人軟式野球連盟

全日本ろう社会人軟式野球連盟

- ・視覚障害者のテニス大会に助成

助成先：日本ブラインドテニス連盟

- ・チャリティ映画会開催に助成

映画のチケット購入

助成先：日本点字図書館、日本聾話学校

- ・本間一夫文化賞に助成

記念品代

助成先：日本点字図書館

- ・東京都盲人福祉大会に助成

助成先：東京都盲人福祉協会

- ・視覚障害者むけ「本の朗読」録音に助成

助成先：日本民放クラブ

- ・失明原因の解明と失明予防・知識の普及と啓発を図る。

助成先：日本失明予防協会

- ・東京都社会福祉協議会関係会費

助成先：社会福祉法人 東京都社会福祉協議会

- ・全国盲老人福祉施設連絡協議会（全盲老連）

創立 50 周年の記念式典に対する助成

3. 文化及び芸術に関する各種の公演、講座等

(1) グランプリ・コンサート 2018（公財）日本室内楽振興財団と共催

第9回大阪国際室内楽コンクール第二部門「管楽アンサンブル」優勝者、フランスの「クワチュオール・ザイール」を招聘する。公演を通じて室内楽の楽しさ素晴らしさを周知させるとともに、次代を担う子供たちに世界で活躍する演奏家の音楽に触れる機会を提供。全国の公演のうち東京公演を担当。

開催日：平成30年11月18日（日） 会場：トッパンホール

(2) 想いでの詩コンサート 2018 主催

叙情歌や童謡を中心に、世代やジャンルを超えて将来も歌い継いでほしい楽

曲で構成。美しい詩を通じて、自然の美しさ、人々の絆や思いやりの心を感じられるコンサート。平成30年度は二年ぶりに東京で開催する。

開催日：平成30年9月22日（土） 会場：浜離宮朝日ホール

(3) 聲明 公演 主催

日本音楽の源流といわれ、単旋律音楽に大きな影響を与えた「聲明」と「洋楽器」が共演。「曼荼羅・音の饗宴」をテーマとし、荘厳な読経の響きと美しく幻想的な音楽で構成。

開催日：平成31年1月26日（土） 会場：横浜市青葉区民センター

(4) 親子で楽しむ「つうコンサート」 主催

不朽の名作オペラ「夕鶴」のハイライトで綴るコンサート。作品は民話「夕鶴」をもとにした物語。人を思いやる心、約束を守ること、そんな当たり前と思われることが、実は乏しくなった現代。次世代の親子に向けて恩返しの大切さ、約束の大切さなどを、語りと歌で伝える。

3回目となる平成30年度は宮崎県延岡市と福岡県岡垣町で開催。

開催日：平成30年8月5日（日） 会場：延岡総合文化センター

平成30年11月11日（日） 会場：岡垣サンリーアイ

(5) スクールコンサート 主催

日本の名曲を通して次代を担う子供たちに正しい日本語を学ぶことの重要性を知ってもらうことは元より、本物の舞台芸術に触れる機会を創ることで、子どもたちの芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うことを目的とする。

全国の小中学校及び教育委員会、音楽ホールと協力し、「音楽鑑賞教室」として実施する。独唱から混声四重唱まで幅広いアレンジを通して音楽の楽しさを体験できるもの。

(6) 言葉の寺子屋～中学生から大人までの俳句塾 主催

俳句を通じて日本語への関心を高め、日本語能力を向上させるとともに、四季の情景を楽しむ感性を育むことを目指す。俳句を学ぶと同時に、言葉について、また日本ならではの風習や伝統文化についても知識を深められる内容。講座は隔週土曜の午後に開催し、年間全 20 回を予定。第 9 期となる 30 年度は 13 歳から 73 歳までの 27 名が受講。

4. 文化及び芸術に関する事業、活動への助成

(1) 「高円宮杯全日本中学校英語弁論大会」に対する助成

英語力と弁論能力を高め、国際交流の担い手を育成することを目的とした上記大会への助成。30 年度は第 70 回大会。

助成先：日本学生協会基金

(2) 在日外国人を対象にした日本語普及活動への助成

日本に住む外国人支援のための教材開発、教育支援活動及び日本語教育相談窓口等の充実を目指した諸活動に対する助成。国際交流の一環として位置付け。

助成先：国際日本語普及協会